

Holiday AG ホリデーAG

Wolfgang Kramer / F.X.Schmid

2 ~ 6人 / 10 人以上

【目的】

プレイヤーは旅行代理店になり、行楽地の人気を伸ばしていきます。

【内容物】

色チップ : 100 (5色) / ゲームボード : 1 / 行楽地カード : 104 / オプションカード : 6枚

スーツケース駒 : 100

【準備】

オプションカードを1枚ずつプレイヤーに配布します。(2,3人でプレイするときは2枚ずつ)。残りのオプションカードは利用しません。

スペシャルカードをまぜた上で、行楽地カードを各プレイヤーに10枚ずつ配ります。色チップをボード上のそれぞれの色に対応した列の右端(銀行)に置きます。残りの行楽地カードは山に積みます。

【スタート】

山から8枚のカードを引きます。そのカードの示す地点が初期配置となるので、スーツケース駒をボード上の対応する地点に置きます(5人プレイ時のみ4枚)。プレイ中使った行楽地カードは捨て札として積み重ねて適当なところに置きます。

【ゲームの流れ】

各プレイヤーは自分の番に以下の2つの行動の両方を行います。

1. ボード上の右端の銀行から2つの色チップを取る。
2. 手札の中から2枚の行楽地カードをプレイする。
 - ・対応する座標の地点にスーツケース駒をおき、山から2枚の行楽地カードを引いて補充。
 - ・使った行楽地カードは捨てられる。

各プレイヤーは順番にこの行動を繰り返します。

【1. 色チップを取る】

色チップは同じ色を2枚取ることも、あるいは2色を1枚ずつ取ることもできます。取ったチップは他のプレイヤーに見えるようにして自分の前に置きます。

オプションカード(手札と別に配布されるもの)を使用することで、ゲーム中1回だけさらに2枚追加でチップを手にいれることができます。

銀行からチップがなくなった場合、その色のチップを得ることはできません。

【2. 行楽地カードをプレイする】

行楽地カードを出すということは、その目的地のツアーが売り切れたということです。いったん出した行楽地カードは再利用されません。同じ色の行楽地カードを2枚出してもよし、別々の色の行楽地カードを1枚ずつ出してもかまいません。

出した行楽地カードが示す目的地に対応するボード上の場所にスーツケースを置きます。その後、手札が10枚になるように山札から補充します。ゲームの終盤で山札がなくなったら、補充はできません。残りの手札を使って出し続けプレイを続けます。

スペシャルカード(手札に含まれる)は行楽地カードのかわりに使うことができます。スペシャルカードには以下の2種類があります。

「Aktientausch」

保有しているチップを銀行(ボードの右端)にあるものと何枚でも交換できる。使ったカードは捨てられる。

「Werterhöhung」

清算時に5色の色のどれか一色の価値を1あげることができる。ボードのその色のわきに置いておくとうわかりやすい。

ある色の列に5つ以上のスーツケースがつながると、その色のチップに価値が生じます。その色に2つ以上の分離した列ができた場合には一番長い列の数がその色の価値となります。

例 : (ある色で 2,3,4,5,6,7 10,11,12,13,14,15,16,17 にスーツケースがある場合、価値は8となる)

【終了】

スーツケースが 10 連続以上つながる列ができたら、最後のターンを行います。

各プレイヤーは 2 個の色チップを銀行から受け取ります。オプションカードをこの際に使うことも可能です。行楽地カードはここではプレイできません。

そして、最後に 1 枚の行楽地カードをプレイできます（任意）（この段階ではじめて 10 個以上のスーツケースがつながっても、後述のボーナスはありません）

山札がなくなって手札のみのプレイをしていて、各自の手札が 4 枚以下になったら、上記のことは行わず即座にゲーム終了となり、精算を行います。

【清算】

それぞれの列について一番長くつながっているスーツケースの数を数えます。4 以下だった場合はその色のチップに価値はなく、ゼロとして数えます。

連結しているスーツケースの数×持っているチップの数が得点になり、それを 5 色それぞれ計算し、その和が総得点となります。

Werterhöhung のカードも考慮して計算します。（ドイツ語ルール最終ページ参照）

10 連続以上つながるようにスーツケースを置いたプレイヤーにはボーナスが 10 点入ります。一番多く点をとったプレイヤーの勝利です。